

〔巻頭言〕

「家族看護学研究」発刊のご挨拶

理事長

杉 下 知 子

わが国に家族看護学を確立し発展させることを願
い日本家族看護学会が1994年10月1日に誕生いたし
ました。当日行われた第1回学術集会には予想をは
るかに超える230余名の皆様が参加下さり、東京大学
山上会館において盛会に開催されましたことが昨日
のように思い出されます。

本学会の設立の経過は、平成4年度に東京大学と
千葉大学に家族看護学講座が新設されたことに端を
発し、平成6年が国際家族年であったことから学会
設立に向けて準備が始まりました。同年5月に9人
の先生方による設立準備会でご討議いただき、構成
員の範囲や会の規模について貴重なご意見をいた
だきました。その後、2ヶ月かけ看護学分野の諸先輩
の先生方にご意見を伺いましたところ、学会設立の
要望をことのほか多くいただきました。第1回学術
集会案内の発送は学会開催2ヶ月前の7月下旬で
した。この間、聖路加看護大学教授飯田澄美子先生と

愛知県立看護大学学長波多野梗子先生に多大なご指
導ご鞭撻をいただきました。現在両先生には本学会
の監事として会全体の運営の監査役をご担当いた
だき、会の発展にご貢献いただいております。

この度、森 秀子編集委員長はじめ編集委員の皆
様および関係者のご尽力により機関誌「家族看護学
研究」の第1号が発刊の運びとなりましたことは誠
に嬉しい限りです。会員一同を代表して心からの
謝意を表します。会員数は現在200人を超え、本誌に
会員名簿を掲載することができました。

学会設立時の趣意書を本号41ページに掲載いた
しました。発起人としてご支援下さいました多くの先
生方に厚くお礼申し上げます。現在、役員としてご
参加の先生方のご活躍および会員のご協力により、
本学会がわが国における家族看護学の発展に貢献
し、本誌がこれに大きく寄与することを願ひ、発刊
のご挨拶といたします。